

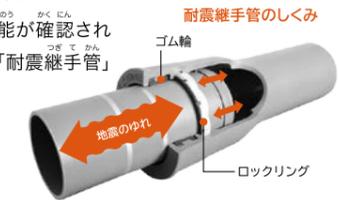


## 災害に備えて

県営水道では、大きな地震や災害が起きた時にも、飲み水を確保できるよう、さまざまな対策をしています。

### ● 水道管や水道施設の耐震化

東日本大震災などでも耐震性能が確認されたつなぎ目が外れにくい仕組みの「耐震継手管」の布設を進めています。また、浄水場や配水池などの耐震診断を行い、耐震補強を行っています。



### ● 飲み水の確保

災害用指定配水池等を37か所指定し、常時およそ33万m<sup>3</sup>の水を蓄えています。地震災害からおおむね水道が復旧するまでの間、これらの災害用指定配水池では、お客様1人あたり約120リットルの水を提供することができます。



### ● 応急復旧による早期給水開始

万が一水道管が壊れた場合も、一刻でも早く直せるように水道工事店の組合と協定を結んだり、県内外の他の水道事業者とも応援しあえるよう万全の体制を整えています。また、修理用材料を、災害用備蓄倉庫に保管しています。



### ● 水道施設の停電対策

地震や台風等の自然災害の激甚化により停電が発生するリスクが高まっていることから、長時間の停電発生に備えた対策などにも取り組んでいます。



### ● 応急給水活動の支援

非常用貯水タンクの設置の支援や、給水車、給水タンクの配備など市町が行う応急給水を支援します。

### しっかり地震対策訓練

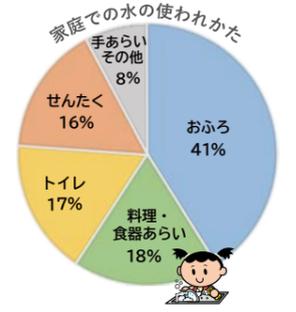
地震発生時の応急対策を円滑に行うため、被害箇所を想定しての応急復旧訓練、市町との応急給水訓練等を定期的実施しています。

## くらしの中の水

～水はどんなふうに使われているの？～

### くらしにかかせない水

わたしたちは毎日のくらしのなかで、かならず水のお世話になっています。くらしのなかでどんなことにつかわれているか調べてみましょう！



### 1日でする水の量はどれくらい必要なの？

県営水道給水区域内では1人の人が1日に使う水の量は、およそ360リットルです。生活の中での水の使われかたをみてみましょう。

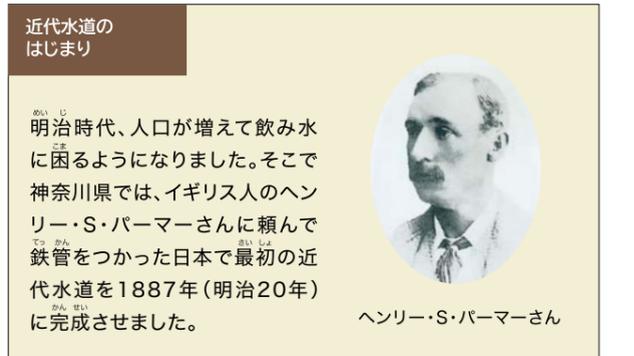


これらの数値は、日頃の水の使用量がどの程度のものかを分かりやすくするために掲載したもので、一般的な量の目安としてご覧ください。

## 水道のうつりかわり



むかしは井戸や川の水くみが毎日の仕事で、「水屋」から水を買ったりもしたの。とっても大変だったのね！



近代水道のはじまり  
明治時代、人口が増えて飲み水に困るようになりました。そこで神奈川県では、イギリス人のヘンリー・S・パーマーさんに頼んで鉄管をつかった日本で最初の近代水道を1887年(明治20年)に完成させました。  
ヘンリー・S・パーマーさん



神奈川県営水道のはじまり  
湘南地方1市9町に水を送るために、1933年(昭和8年)県営水道ができたんだ！  
水道管をうめる 鉄管を運ぶ  
どんどん大きくなって今では、12市6町に水を送っているんだよ！



水のことを楽しく体験・学べる館内には発見がいっぱい。美しい庭園「水の広場」も併設しています。

- 開館時間 午前9:30～午後4:30
- 月曜日休館 (祝日の場合はその翌日)
- ※ 年末年始休館 (12月29日～1月3日) 2月第4週休館 (月～金曜日)
- 入館料 無料 ● 駐車場 あり
- ※カーナビをご利用の際は「寒川町宮山3998」を入力すると駐車場付近が案内されます。

〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山 4001  
電話 0467-74-3478  
FAX 0467-75-8755



## 水道に関する手続き

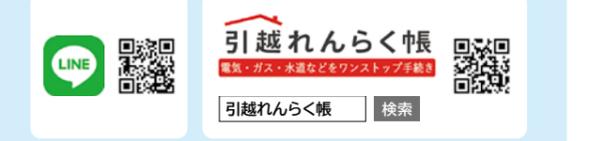
### 支払い方法について

口座振替やクレジットカードによる支払い等があります。神奈川県営水道ホームページや右の2次元コードからご確認ください。



### お引越しの手続き

神奈川県企業庁LINE (水道の開始・休止の手続き) や、「引越れんらく帳」で24時間受け付けています。



### その他水道に関する手続き

各種お手続きに関する情報は、神奈川県営水道のホームページをご覧ください。お客様コールセンターへお問合せください。

### 神奈川県営水道お客さまコールセンター

ナビダイヤル 0570-005959

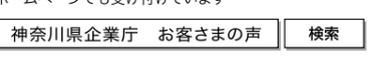
受付：月～土曜日/午前8時30分～午後7時  
※日曜・祝日及び年末年始(12/29～1/3)を除く  
※月曜日や祝日明けの午前中は電話が混み合うことがあります。

FAXナビダイヤル 0570-014032

※ナビダイヤル・FAXナビダイヤルは、通話・通信料金ががかかります。

### 県営水道へのご意見・ご要望をお寄せください

郵送 〒231-8588 (住所省略可) 県企業庁総務室「お客さまの声」係  
FAX 045-210-8900  
ホームページでも受け付けています



編集・発行 2024年7月発行

神奈川県企業庁企業局水道部経営課 管理広報グループ  
TEL 045-210-7215 (直通)

# 水はどこからくるの？

～主な水源と給水区域～

いつでも必要なだけ水を使えるくらしは、主に相模湖、津久井湖、宮ヶ瀬湖、丹沢湖の4つの湖に支えられています。



相模川の源は、山梨県の山中湖や富士山のふもと忍野八海です。忍野八海は景色が美しく、きれいな水がわき出ています。

相模ダムと相模湖



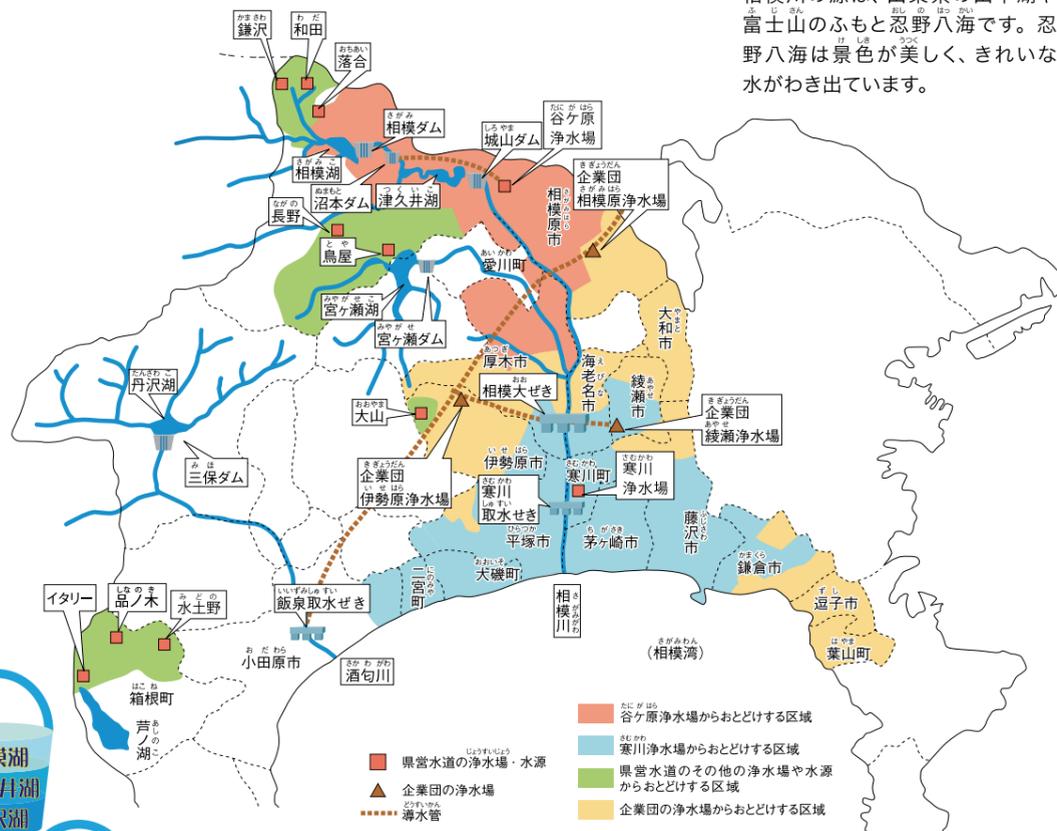
城山ダムと津久井湖



三保ダムと丹沢湖



宮ヶ瀬ダムと宮ヶ瀬湖



**相模湖** 6320万m<sup>3</sup>

**津久井湖** 6230万m<sup>3</sup>

**丹沢湖** 6490万m<sup>3</sup>

**宮ヶ瀬湖** 1億9300万m<sup>3</sup>

なんと！  
横浜スタジアム  
おおよそ600杯分

**宮ヶ瀬湖**は、総貯水量1億9300万m<sup>3</sup>。これは、相模湖、津久井湖、丹沢湖の3つをあわせた貯水量とほぼ同じ。この4つの湖のおかげで、水不足の心配がほとんどなくなり安心して水道をお使いいただけます。企業庁のホームページでは貯水量データを毎日更新しています。

**相模ダムリニューアル事業**

これからも安定的に水道水や電力を届けるため、相模ダムのリニューアルを進めています。事業を紹介している動画を右の2次元コードから見てみましょう。YouTubeリンク

# 水の旅

～ダムからじゃ口へ～

**水源林のはたらき**

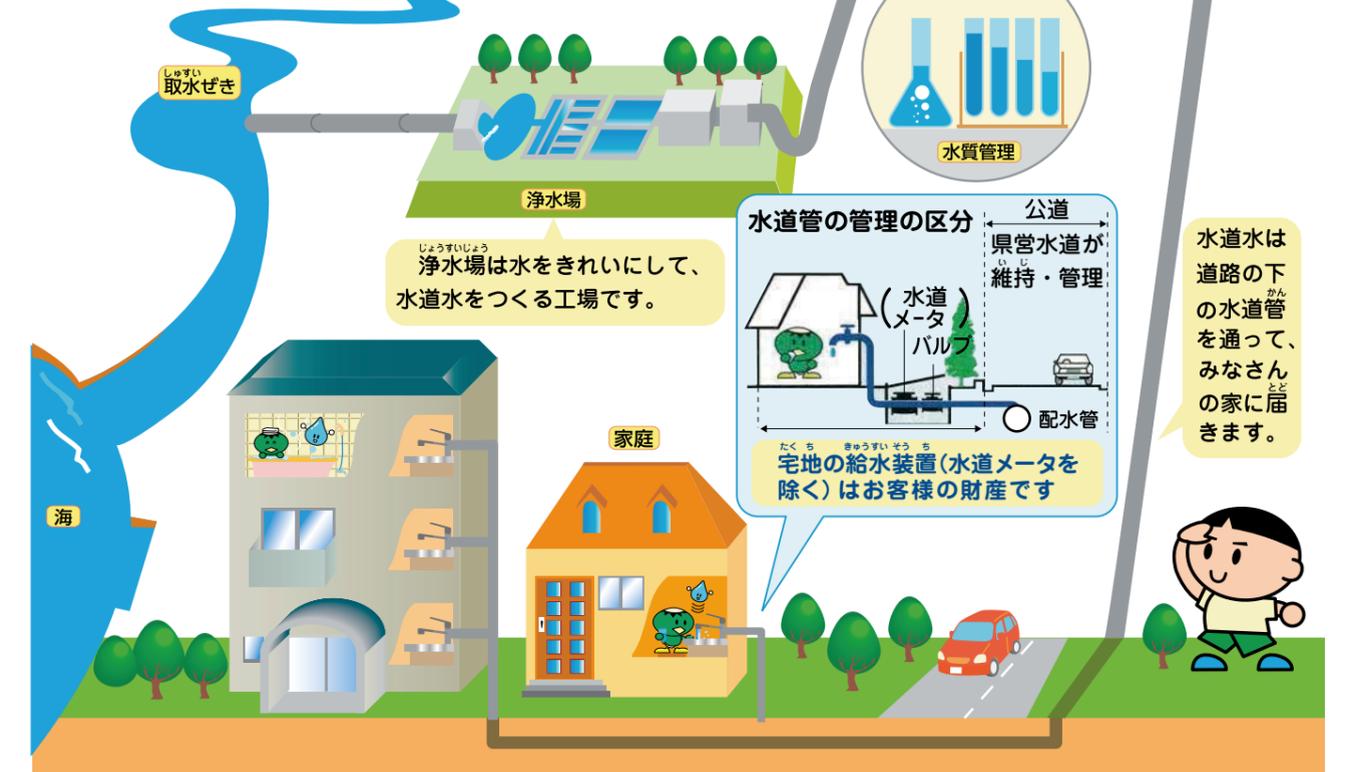
森林は、山に降った雨水を地下水としてたくわえる自然のダムとしての役割をもっています。神奈川県ではこの水源の森林を守り、つくっていく事業を行っています。みなさんも水源の森林をたいせつに守り、育てましょう。



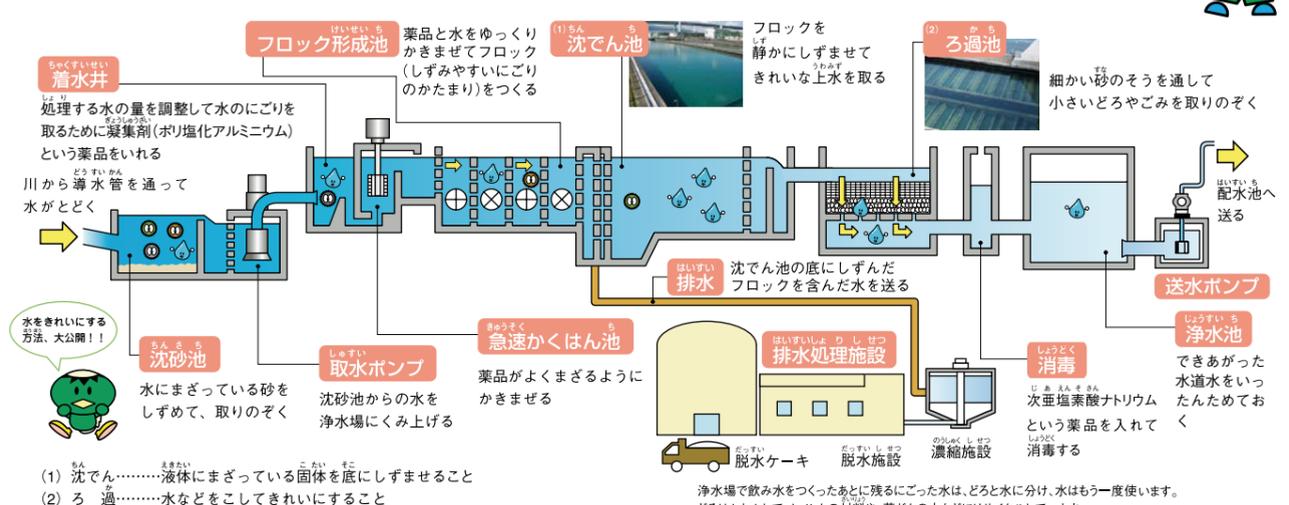
**ダムのはたらき**

ボク、ダムエレキくんだよ。ダムはね、雨が降って川の水が増えたら水をためておき、川の水が少なくなったら、ためた水を流して川の水量を調節しているんだ。これがダムの主な役割なんだよ。

**配水池**は浄水場でできた水道水をためておくところです。



# 水の工場、浄水場



だから安心して飲めるのね!

**水の検査**

県営水道では、すべてのお客さまに安心して水道水を利用いただくために、水源から給水栓(じゃ口)まで、一貫した水質検査を実施し、飲み水としての安全性を確認しています。このうち、給水栓については、給水区域内の20地点において、定期的に150種類以上の項目に関する検査を行っています。

**太陽光発電**

寒川浄水場では、環境に配慮した取組の一環として、「ふた」を取り付けています。太陽光発電は、地球温暖化の原因である二酸化炭素を出さない、環境にやさしい発電方法です。できた電気は、すべて浄水場で使っています。



寒川浄水場